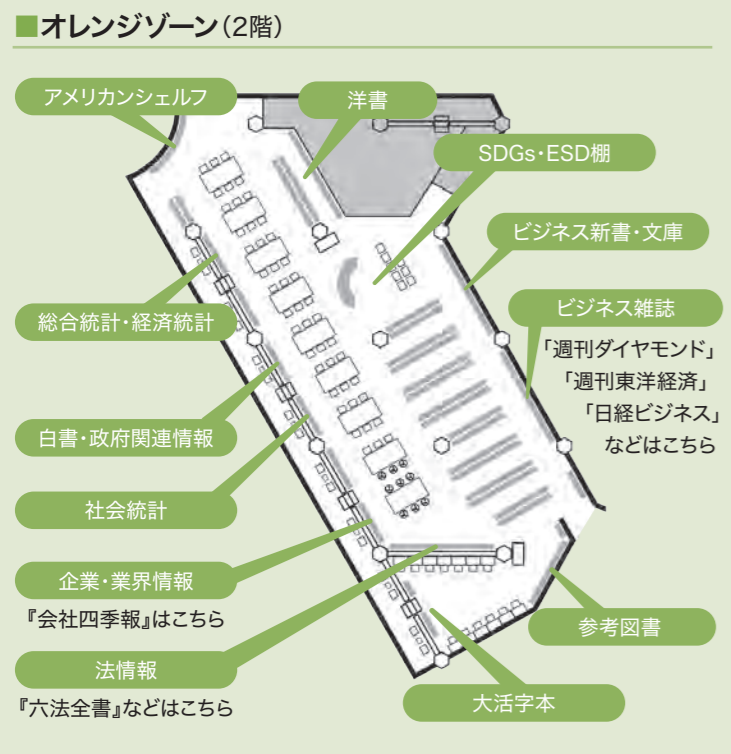


LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

**本の場所を移動しました**  
お探しの資料をさらに見つけやすく、使いやすくするために、書架の移動を行いました。今月は、政治・経済・法律・統計・白書などビジネスに関する本が置いてある2階オレンジゾーンをご紹介します。来月は3階グリーンゾーンをお届けします。



展示 PICK UP

「みどりの月間」「みどりの感謝祭」関連展示

**森と木と人をつなぐ 仕事と文化をまなぼう** ~5/22(火)

4月15日から5月14日までは「みどりの月間」です。当館では、日本の林業や木の文化を紹介する、林野庁作成の漫画「リン子の絵日記」「お山(やま)ん画(が)」「人to木~人と木をつなぐ仕事」を関連図書とともに展示しています。身近な緑や森林に親しみ、緑化運動や地球温暖化防止の取り組みについて考えるきっかけにしてみてください。(協力:林野庁)

**<展示場所>**  
1F ホール  
2F パープルゾーン(三角台)  
3F グリーンゾーン

▲1階「人to木~人と木をつなぐ仕事」「リン子 チェンソースタイル」

▲2階パープルゾーン「みどりの月間」関連展示

▲3階グリーンゾーン「リン子の絵日記」

館内を巡りながら、展示をお楽しみください!

5 Exhibit Information 月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

**2F パープルゾーン** 「博物館っておもしろい!」(~5/18)  
国内外の博物館や資料館の面白さ、奥深さを紹介する本や図録、パンフレットを集めました。展示方法や保存技術など、博物館学についても学べる展示です。近隣の博物館等を紹介するパネルもご用意しました。

**3F ブルーゾーン** 「夜」(~8/17) **NEW!**  
日比谷図書文化館は、平日は夜10時まで開館しています。そこで夜という時間帯の魅力に迫り、夜の有効な活用方法、文学や芸術における「夜」の捉え方などをご紹介します。

**3F グリーンゾーン** 「変わる」(~6/15)  
「変わる」をキーワードに、動植物が生きていくために行う擬態・変態から、装うことで変化する心、そして変わらず守っていかねばいけないものまで、さまざまな視点で変化をとらえる展示です。

スタッフおすすめ本

『食べられないために 逃げる虫、だます虫、戦う虫』  
ギルバート・ウォルド/パウアー著  
中里京子 訳  
みすず書房  
2013年

『PHOTO ARK 動物の箱舟』  
ジョエル・サートレイ著  
関谷冬華 訳  
日経ナショナル ジオグラフィック社  
2017年

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

**東京駅で逢いませう**  
千代田区は、平成27年11月に区内出版社の龍星閣(りゅうせいかく、昭和8年創業)から、大正口マロンを代表する画家である竹久夢二(1884~1934)に関する美術作品・資料約1200点の寄贈を受けました。今回の展覧会では、東京ステーションギャラリーと共同で、寄贈された美術作品・資料を中心に、初公開の作品を含む約500点を公開します。また、夢二や龍星閣、その関係者が出版に託した思いと千代田区の出版文化も紹介します。

**東京ステーションギャラリー**  
(千代田区丸の内1-9-1 東京駅丸の内北口)  
会期 **5/19(土)~7/1(日)**  
開館時間:10:00~18:00 (金曜日は20時まで/入館は閉館の30分前まで)  
休館日:月曜日(6/25を除く)  
入館料:一般900(700)円/ 高校・大学生700(500)円/中学生以下 無料 ※( )内は前売料金(5月18日まで販売)20名以上の団体は、一般800円、高校・大学生600円、障がい者手帳等持参の方は100円引き(介添者1名は無料)、千代田区民無料(無料チケット持参の方)  
主催:千代田区、東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化財団)、東京新聞



**夢二繚乱**  
Takehisa Yumeji Master of Japanese Modern Illustration

- 展示構成**
- 第1章 夢二のはじまり
  - 第2章 可愛いもの、美しいもの
  - 第3章 目で見える音楽
  - 第4章 出帆
- みどころ**
- ① 初公開! 夢二青年期の試作『揺籃(ようらん)』  
推敲(すいこう)の跡も生々しい手書きの冊子からは、若き夢二の原点をうかがい知ることができます。
  - ② 初公開! 自伝小説『出帆(しゅっぱん)』挿絵原画  
本展では、彼の愛した女性たちや風景などを水墨で描いた挿絵原画134点を一堂に初公開します。



**記念講演会**

**ジャーナリズムと竹久夢二**  
日時:5月31日(木)19時~20時30分  
講師:西山純子(千葉市美術館学芸員)  
会場:日比谷図書文化館 地下1階 大ホール  
参加費:500円 ■定員:200名  
申込締切:5月20日(日)

**出版活動と千代田、龍星閣コレクション**  
日時:6月5日(火)14時~15時30分  
講師:井上海(千代田区教育委員会)  
聞き手:福田章(東京ステーションギャラリー館長)  
会場:千代田区役所 1階 区民ホール  
参加費:500円 ■定員:100名  
申込締切:5月27日(日)

**装幀・出版からみた竹久夢二**  
日時:6月21日(木)19時~20時30分  
講師:岩切信一郎(美術史家)  
会場:日比谷図書文化館 地下1階 大ホール  
参加費:500円 ■定員:200名  
申込締切:6月10日(日)

【申込方法】往復はがきに①講座名②氏名・年齢③住所④電話番号を記載し、各講演会の申込締切日までに申込先へ郵送してください(いずれも当日消印有効)。1講座につき1枚、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。申込先:〒100-0012千代田区日比谷公園1-4千代田区立日比谷図書文化館 文化財事務室(電話 03-3502-3348 / FAX 03-3502-3361)

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

**ヨムキクちよだ 2018**  
千代田区立の図書館では、「こどもの読書週間」(4/23~5/12)に合わせて「ヨムキクちよだ2018」を開催しています。ご参加をお待ちしています。(すべて参加無料)

**千代田図書館**  
▶ 第10回ことばと音のフェスティバル♪よみしばい「モモ」  
日時:4月28日(土)11:00~12:00  
場所:千代田区役所1階 区民ホール

▶ 緊急活動!春のレファレンジャー/ワークワークショップ  
日時:4月28日(土)13:00~15:00  
場所:千代田図書館10階 児童書コーナー

▶ おはなしに会えるパン屋さん2018  
日時:4月23日(月)~5月12日(土)  
場所:千代田区役所1階 さくらベカリー

《こどもの読書週間展示》  
▶ おはよう おやすみ いまなんじ?  
日時:4月23日(月)~5月13日(日)  
場所:千代田図書館9階 第2展示ウォール

▶ 図書館のほん  
日時:4月16日(月)~5月13日(日)  
場所:千代田図書館10階 児童書コーナー

▶ ことばと音のほん  
日時:5月1日(火)~5月13日(日)  
場所:千代田図書館10階 児童書コーナー

▶ こどもの日スペシャル 読んで歌って楽しんで!  
日時:5月5日(土・祝)14:00~15:30  
場所:四番町図書館 ラウンジ

▶ 四番町図書館

▶ にちようびおはなし会 ~こどもの読書週間スペシャル~  
日時:4月29日(日・祝)15:00~16:00  
場所:四番町図書館 ラウンジ

▶ きんようびおはなし会 ~こどもの読書週間スペシャル~  
日時:5月4日(金・祝)15:00~16:00  
場所:四番町図書館 ラウンジ

「としょかんをめぐる! スタンブラリー」も開催中です。  
イベントなどの詳しい情報は、「ヨムキクちよだ2018」チラシ、または千代田区立図書館ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/> をご覧ください。

**calendar** 開館時間:平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2018年5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2018年6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4  
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

**access**

- 【都営地下鉄】
  - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 【東京メトロ】
  - 丸の内線
  - 日比谷線
  - 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
  - 千代田線
  - 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
  - JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

# 5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 5/2 (水) 星と旅するワールドツアー ～世界の星の歴史と文化～ ヨーロッパ編

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)

天文学をめぐる歴史は、当時の文化や社会の動きの中で大きく関わりあうと同時に、世界の中心にあった地球を、何の変哲もない宇宙の片隅へと追いやってしまうほどに発展してきました。今年の星のソムリエとめぐる星の旅の初回は、時空を超えて天文学の起源をヨーロッパに訪ねます。



写真：皆川敏春氏 撮影

■日時：5月2日(水) 19:00～21:00(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

## 5/7 (月) 世界の音楽 2018 風と大地の育んだ音～馬頭琴の魅力～

講師：美炎(馬頭琴奏者)

モンゴルの民族楽器である馬頭琴。本来の民謡、そしてモンゴルでの楽曲から、音楽のジャンルを超えることで様々な表情をみせる馬頭琴の魅力のパフォーマンスとキーボードと共にお届けします。



■日時：5月7日(月) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

## 5/18 (金) 立木写真館(なっちゃんの写真館)が見つけた世紀を超えた日露友好

講師：立木 さとみ(立木写真館常務取締役)

徳島の立木写真館(なっちゃんの写真館)にある日突然ロシアから送られて来た1枚の写真。それは、日露戦争時(1905年)に香川県善通寺で撮影されたロシア兵俘虜の集合写真だった。写真がつないだ過去と現在、人の縁。怒涛のように展開する奇跡のストーリーをワクワクドキドキしながらお楽しみください。



■日時：5月18日(金) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

## 5/23 (水) 超高層ビルは都市をどう変えたか～霞が関ビル誕生から50年～

講師：大澤 昭彦(高崎経済大学地域政策学部准教授)

霞が関ビルの誕生から50年。今や超高層ビルのある風景は日常となりました。本講演では、高層ビルの歴史や世界の超高層化の動向を踏まえながら、日本で超高層ビルが生まれた経緯や社会的背景とともに、超高層ビルが都市に与えてきた影響、さらには人口減少時代における超高層ビルのあり方について語ります。



大手町・丸の内スカイライン

■日時：5月23日(水) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 5/25 (金) 千代田区民講座 陽気な「童謡のおばさん」を語る

講師：村井 実(ジャーナリスト/「JAPAN TODAY」編集長)

昨年7月6日、NHKのラジオ番組の「うたのおばさん」として知られる安西愛子さんが百歳で大往生されました。3期に渡って参議院議員を務める一方で、童謡振興議員連盟を結成し、日本の童謡の普及に大きく貢献しました。当時、最も親交の深かった新聞記者だけが知っている「安西愛子伝」を語ります。

(主催：NPO法人 神田雄学大学、共催：日比谷図書文化館)

■日時：5月25日(金) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：無料



## 6/4 (月) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー 私のサッカー人生

講師：川口 能活(SC相模原GK、元日本代表GK) 吉井 妙子(ジャーナリスト)

サッカー日本代表の守護神として、スーパーセーブの数々で日本のプロサッカー人気を牽引してきた川口能活氏。数々の試練を乗り越えいかにして世界で活躍するGKとしての素養を身につけてきたのか。現在もJ3リーグSC相模原ゴールキーパーとして、若手選手を鼓舞し、精神的支柱としてもチームを支える川口氏が、ジャーナリストの吉井妙子氏との対談形式で語ります。

(主催：公益財団法人上廣倫理財団、共催：日比谷図書文化館)

■日時：6月4日(月) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生無料)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



## 6/6 (水)他 江戸歴史講座 第51・52回 江戸の居酒屋文化(全2回)

講師：飯野 亮一(食文化史研究者)

18世紀中ごろになると江戸の町には、居酒屋が生まれ、賑わいを見せるようになりますが、店構えや客層は今は違っていました。第1回では江戸の居酒屋の誕生の経緯をさぐり、賑わいを見せる店構え、客層、酒飲み風景、飲み方などを紹介します。第2回では「呑みだおれの町」といわれた江戸で江戸っ子たちはどの位、どのように酒を呑んでいたか、居酒屋でどんな肴が出されていたかなどについて紹介します。

■日時：6月6日(水) 19:00～20:30(18:30開場)  
第1回「江戸の居酒屋の生い立ちと賑わい」  
6月20日(水) 19:00～20:30(18:30開場)  
第2回「江戸っ子が呑んでいた酒と肴」  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：各回200名 ■参加費：各回1000円(千代田区民 各回500円)



## 6/7 (木) 江戸歴史講座 第53回 伊能忠敬 人と業績

講師：星 聖 由尚(公益社団法人東京地学協会副会長)

伊能忠敬は、わが国で初めて実測による日本地図を作成した人物です。下総佐原の豪商であった忠敬は、55歳の時から足掛け17年をかけ、全国の測量を行いました。今年は、1818年に忠敬が亡くなってから200年を迎えますが、忠敬の人物像とその業績を振り返り、その偉業の原動力を考えます。

■日時：6月7日(木) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名  
■参加費：1000円(千代田区民500円)



富岡八幡宮の伊能忠敬像

## 6/14 (木) ジャパニーズ・エコロジー 南方熊楠ゆかりの地を歩く

講師：田村 義也(南方熊楠顕彰会学術部長)、大竹 哲夫(み熊野ねっと) 水野 雅弘(TREE代表取締役・CEPAジャパン) 川延 昌弘(日本写真家協会・CEPAジャパン)

150年前に生まれた南方熊楠は、明治の時代に海外遊学し、博物学、生物学、民俗学の智の巨人となりました。柳田國男により編まれた『南方二書』を紐解きながら、熊楠が私たちに残してくれたメッセージと、世界遺産や国の名勝地にもなったゆかりの地を紹介します。(特別協力：南方熊楠顕彰館(田辺市)、企画協力：一般社団法人CEPAジャパン)

■日時：6月14日(木) 19:00～21:00(18:30開場)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：1000円



南方熊楠顕彰館(田辺市)所蔵

## 6/15 (金) サッカー審判のお話 —最高のプレーを引き出すために

講師：松崎 康弘(公益財団法人 日本サッカー協会常務理事)

6月15日、日本も参加するFIFAサッカーワールドカップ(WC)ロシア大会が開幕する。主役は、選手。審判は、選手が安全に素晴らしい技術を披露できるように試合環境を整備する。サッカー審判の成り立ちからWC初登場のビデオアシスタントレフェリーなどを紹介しつつ、「審判目線」でのサッカーを追求してみたい。



■日時：6月15日(金) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

## 6/22 (金)他 これだけは知っておきたい 中国経済2018(全2回)

講師：丸川 知雄(東京大学社会科学研究所教授)

中国が世界最大の経済大国になる日が近づいている。すでに中国の経済成長の影響は世界の隅々に及んでいる。他方で、その統計数字や積極的な対外投資の意図など中国はいまだにわかりにくい国であり続けている。第1回の講義では中国経済の現状を表裏から、内外から解明します。第2回ではそうしたイノベーションを突き動かす企業家たちを紹介します。

■日時：6月22日(金) 19:00～20:30(18:30開場)  
第1回「中国の経済成長と世界経済のゆくえ」  
7月6日(金) 19:00～20:30(18:30開場)  
第2回「大衆資本家たちのイノベーション」

■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：各回60名 ■参加費：各回1000円



## 6/26 (火) 行動経済学とは何か —なぜノーベル経済学賞を受賞したか

講師：友野 典明(明治大学情報コミュニケーション学部教授)

2017年度のノーベル経済学賞が行動経済学者のリチャード・セイラーに贈られた。本講座では、行動経済学の考え方や、その基礎となる人間の意思決定の仕組みやバイアス、幸福やインセンティブなどの標準的経済学(新古典派経済学)では扱わない(扱えない)テーマについて紹介し、行動経済学の概要と面白さを知っていただきます。

■日時：6月26日(火) 19:00～20:30(18:30開場)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：1000円

### 《予告》日比谷図書文化館特別展

## 大正モダーンズ ～大正イマジユリと東京モダンデザイン～

会場：1階 特別展示室

期間：2018年6月8日(金)～8月7日(火)

※ 詳しくは次号で紹介いたします。

大正時代には、新しい大衆文化が花開き、竹久夢二や杉浦非水など多くの画家が小説や雑誌の挿絵、書籍の装幀や商業デザインを手がけました。本展では、雑誌や装幀、パンフレットやパッケージデザインなど、いまなお清新な輝きを放つ大正～昭和初期にかけての様々なグラフィック・デザインを紹介します。

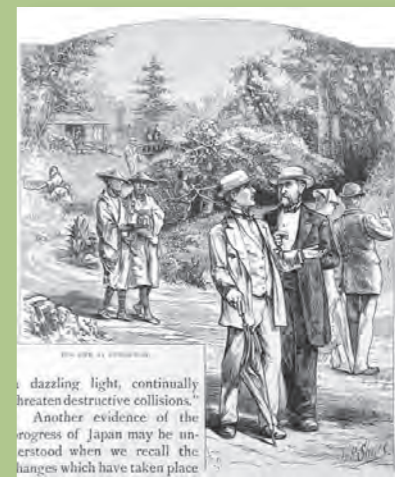


杉浦非水「東京」(2巻第3号)1925(大正14年)

### 特別研究室企画展示

## 若き日の明治天皇とグラント大統領 —内田嘉吉文庫に見る日米交流の原点—

4月17日(火)～6月30日(土)



延邊館の庭を散歩するグラント將軍(右)とヤング  
([「Around the world with General Grant vol.II」/ John Russell Young 著 / 1879年])

アメリカ南北戦争の英雄として、後世まで「グラント將軍」として親しまれたユリシーズ・シンプソン・グラントは、1869年から1877年までアメリカ合衆国大統領を務めた人物です。大統領退任後の世界周遊の旅で来日(1879年)した際には、若き日の明治天皇と非公式会談を行っています。本企画では、この来日時の記録を中心に、親日の顔を持つグラント大統領関連の資料を内田嘉吉文庫蔵書の中から紹介しています。

### ポモ—又広報室より

上流階級の社交場として明治期に建てられた「鹿鳴館」をはじめ、帝国ホテル、東京宝塚劇場、日生劇場など日比谷界限は人が集まる街として栄えてきました。そして、今春、日比谷に新しく「東京ミッドタウン日比谷」が加わりました。銀座、有楽町、霞が関に囲まれた日比谷は、新しい場所だけではなく、歴史やどこか懐かしさを感じさせる様々な顔をもつエリアです。5月の連休は、いま注目されている日比谷でお気に入りの場所を探しにきませんか。